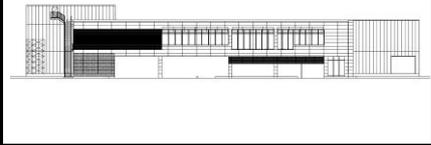


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社ヤオコー藤沢片瀬店新築工事	階数	地上2F
建設地	藤沢市片瀬336番地の一部	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	695人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,500時間/年
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2016年6月1日
敷地面積	5,161 m ²	作成者	株式会社ハズ建築研究所
建築面積	2,830 m ²	確認日	2016年6月1日
延床面積	5,622 m ²	確認者	株式会社ハズ建築研究所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 設計上の配慮事項		その他
総合 「豊かで楽しい食生活提案型スーパーマーケット」を目指し、魅力ある店舗づくりを追求。清潔で快適な環境で、ゆったりとした買い物を楽しむようなレイアウト、駐車場の充実。また、自由に使える「キッチンカフェ(休憩所)」は客との触れ合いの場を提供する地域コミュニティの場として利用できる地域密着型スーパーマーケットを目指す。壁面緑化等により調和を図る計画として、環境に配慮した建物をコンセプトとしている。		
Q1 室内環境 高断熱材の採用により外皮性能を上げるなど温熱環境に配慮している。 また、F☆☆☆☆建材を全面的に採用するなど、空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している。 階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。 LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓などに加えて、節水型便器などの省水型機器を用い、水資源を保護している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を74%とし、地球温暖化への配慮をしている。 敷地内緑化に加え、壁面緑化を行い、地域環境へ配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される